

科目名	日本国憲法				
英語科目		ナンバリング	GHent110 GHent111 GHent114		
開講期	春／秋	開講学部等	共通教育科目	配当年次	1 年次
教員名	寺川 史朗			単位数	2 単位

授業概要／Course outline

日本国憲法の基本原理を概観し、平等、自由権、社会権、参政権、平和的生存権など個別の人権が現実の政治や社会、日常生活のなかでどのように扱われているかについて講義します。また国会、内閣、裁判所といった国の政治機構や、地方自治などについても扱います。実際の裁判例や具体的事件を素材に受講生のみなさんと一緒に考えることができるような授業となるよう心がけたいと思います。「このような場合には、どのようにすればよいのか？」といったことを自ら考えることができる力を身につけるようにしていきましょう。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

授業内容・授業計画／Course description・plan

- 第1回 テーマ：日本国憲法における人権保障
日本国憲法が掲げる人権保障について概観する。
- 第2回 テーマ：人権の享有主体
外国人の人権や子どもの人権について考える。
- 第3回 テーマ：法の下での平等
平等原則や差別禁止について学び、家族や職場をめぐる差別問題を考える。
- 第4回 テーマ：表現の自由
表現の自由の意義と価値を学び、ビラ配布への規制など表現の自由への規制問題について考える。
- 第5回 テーマ：知る権利と報道の自由
知る権利に資する報道の自由の在り方について考える。
- 第6回 テーマ：生存権
生存権の歴史的意義を確認し、その実現可能性について考える。
- 第7回 テーマ：環境と人権
公害防止や自然環境保全のために求められる経済規制の在り方について考える。
- 第8回 テーマ：労働基本権
労働者の権利について学び、労働者の置かれている現状を改善する糸口を考える。
- 第9回 テーマ：信教の自由と政教分離
信教の自由と政教分離を学び、国による宗教への関与について考える。
- 第10回 テーマ：平和主義と平和的生存権
平和主義と平和的生存権について学び、平和とは何か、どのようにして構築するのかについて考える。
- 第11回 テーマ：参政権と国会
参政権と国会について学び、選挙制度や国会の役割を考える。
- 第12回 テーマ：内閣
行政の概念と議院内閣制について学び、内閣に期待される役割を考える。
- 第13回 テーマ：裁判所と違憲審査
裁判所の役割と違憲審査について学び、政治部門との関係を考える。
- 第14回 テーマ：地方自治
地方自治を保障する意義を学び、条例制定権や国との関係について考える。
- 第15回 テーマ：近代立憲主義と日本国憲法
近代立憲主義について学び、それが日本国憲法にどのように継承されているかを理解する。

準備学習等（事前・事後学習）／Preparation and assignments

- 第1回 テーマ：日本国憲法における人権保障
事前学習：教科書第1部第3章を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
事後学習：授業内容を確認するため、教科書同章を精読する。（所要時間の目安：120分）
- 第2回 テーマ：人権の享有主体
事前学習：教科書第2部第1章・第2章を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
事後学習：理解を深め広げるため、各章末の「課題を探究しよう」に取り組む。（所要時間の目安：120分）
- 第3回 テーマ：法の下での平等

- 事前学習：教科書第2部第8章を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
 事後学習：理解を深め広げるため、章末の「課題を探求しよう」に取り組む。（所要時間の目安：120分）
- 第4回 テーマ：表現の自由
 事前学習：教科書第2部第5章を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
 事後学習：理解を深め広げるため、章末の「課題を探求しよう」に取り組む。（所要時間の目安：120分）
- 第5回 テーマ：知る権利と報道の自由
 事前学習：教科書第2部第6章を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
 事後学習：理解を深め広げるため、章末の「課題を探求しよう」に取り組む。（所要時間の目安：120分）
- 第6回 テーマ：生存権
 事前学習：教科書第2部第9章を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
 事後学習：理解を深め広げるため、章末の「課題を探求しよう」に取り組む。（所要時間の目安：120分）
- 第7回 テーマ：環境と人権
 事前学習：教科書第2部第7章を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
 事後学習：理解を深め広げるため、章末の「課題を探求しよう」に取り組む。（所要時間の目安：120分）
- 第8回 テーマ：労働基本権
 事前学習：教科書第2部第3章を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
 事後学習：理解を深め広げるため、章末の「課題を探求しよう」に取り組む。（所要時間の目安：120分）
- 第9回 テーマ：信教の自由と政教分離
 事前学習：教科書第2部第11章を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
 事後学習：理解を深め広げるため、章末の「課題を探求しよう」に取り組む。（所要時間の目安：120分）
- 第10回 テーマ：平和主義と平和的生存権
 事前学習：教科書第3部を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
 事後学習：理解を深めるため、章末の「改憲案をみてみよう」の文意を探る。（所要時間の目安：120分）
- 第11回 テーマ：参政権と国会
 事前学習：教科書第1部第4章を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
 事後学習：理解を深めるため、章末の「改憲論議のなかの政党と参議院」の文意を探る。（所要時間の目安：120分）
- 第12回 テーマ：内閣
 事前学習：教科書第1部第5章を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
 事後学習：理解を深めるため、章末の「改憲・改革論議のなかの内閣と議院内閣制」の文意を探る。（所要時間の目安：120分）
- 第13回 テーマ：裁判所と違憲審査
 事前学習：教科書第1部第6章を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
 事後学習：理解を深めるため、コラム①を読み、裁判員制度の意義と課題を探る。（所要時間の目安：120分）
- 第14回 テーマ：地方自治
 事前学習：教科書第1部第8章を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
 事後学習：理解を深めるため、全国各地地方公共団体のおもしろい条例を調べる。（所要時間の目安：120分）
- 第15回 テーマ：近代立憲主義と日本国憲法
 事前学習：教科書第1部第1章を通読し、分からない箇所をマークする。（所要時間の目安：120分）
 事後学習：理解を深めるため、章末の「改憲案をみてみよう」の文意を探る。（所要時間の目安：120分）

授業の到達目標／Expected outcome

- ・人権に関する基本的な知識を得ることができるようになること。
- ・人権に関する解釈の方法や判例の読み方を身につけることができるようになること。
- ・国会、内閣、裁判所、地方自治など国や地方の政治が動く仕組みを理解することができるようになること。
- ・現実の政治や社会、日常生活における人権の扱いをめぐる、自らの力で問題を発見し、解決や改善のための方向性を示すことができるようになること。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・思考力
- ・幅広い教養

履修上の注意／Special notes, cautions

教科書に沿って授業を行いますので、各自で教科書を用意してください。
 六法は必要ありません。

評価方法／Evaluation

定期試験（筆記試験）100%

* 授業形態の変更などのため、シラバス作成時点（2024年1月16日）より以降、評価方法が変更される場合は別途指示します。

教材／Text and materials

教科書：現代憲法教育研究会編『憲法とそれぞれの人権 第4版』（法律文化社、2022年）

質問や相談の方法／Instructor contact

授業終了後に質問や相談をしていただくとよいです。